別紙第５

給食・給水訓練実施計画（例）

令和　　年度　　　自主防災組織　給食・給水訓練実施計画

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 内　　容 |
| 日　時 | 令和　　年　　月　　日（　曜日）　　：　　　～　　：　　迄 |
| 場　所 | 自治会公民館　　出水市　　　町　　　　番　　　　号 |
| 参加者 | 自主防災組織役員及び自主防災組織会員 |
| 参加機関 | 消防団　　分団 |
| 訓練目的 | 地震または大雨等による土砂災害による家屋倒壊やその可能性がある場合の立退き避難先での食事や、災害による輸送途絶等による食料調達が困難な場合の食事など、個人備蓄品の消費や組織的な炊出し等により、給食・給水の確保ができるよう訓練し練度の維持向上を図る。 |
| 災害想定 | １　地震または大雨等による土砂災害による家屋倒壊やその可能性がある場合の立退き避難中であり、非常持出品や自宅での備蓄品を携行している。  ２　在宅避難中であり３日分の備蓄品があるが、それ以上は災害による輸送途絶等により、個人的な食料調達が困難である。 |
| 訓練内容 | 【個人または自主防災組織の備蓄品の実食等】  １　実食・情報交換  　　賞味期限の近い非常用の食料や水を携行し実際に食して、その調理用法、味、食べやすさなどを確認し、訓練参加者相互に情報交換する。  ２　備蓄のための購入  　　訓練終了後、同じ物または評判の良い物を買い足す。  【自主防災組織による炊出し訓練】  １　炊出し訓練計画の作成  　⑴　メニューの選定（数種類のメニューを計画）  　⑵　メニュー別の必要物品の準備  　　　（食材、調味料、調理器具、食器等）  　⑶　参加者数による食材の調達  ２　炊出し訓練  　　食材カット、調理、実食、評価及び総括 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 内　　容 |
| 訓練内容 | 【日本赤十字社鹿児島県支部への訓練支援依頼】  １　事業推進課（０９９－２５２－０６００）に訓練申込の打診及び事前協議の調整  ２　「非常炊出し訓練の指導員派遣について」の申請書作成・提出（日程及び借用物品の調整）  ３　炊飯袋（ハイゼックス）での白米炊飯、豚汁の炊出し訓練  【配慮事項】  ※１　自主防災組織による炊出し訓練及び日本赤十字社鹿児島県支部への訓練支援を依頼する際は、努めて複数の自主防災組織合同での計画に留意する。  　２　日本赤十字社鹿児島県支部への訓練支援依頼以外は、努めて、他の訓練または、イベント等と連携すると効果的である。 |
| 訓練時程 | |  |  | | --- | --- | | １０：００ | 訓練開始式及び訓練説明（事前説明内容を確認） | | １０：２０ | 訓練開始 | | １０：２０  ～  １２：３０ | 【個人または自主防災組織の備蓄品の実食】  １　備蓄品の消費準備（３０分）  ２　実食　　　　　　（３０分）  　　調理用法、味、食べやすさなどを確認  ３　評価の発表と総括（１０分）  【自主防災組織による炊出し訓練】  　（メニュー例）白米炊飯、豚汁  １　食材カット　　　（３０分）  ２　調理　　　　　　（６０分）  ３　実食　　　　　　（３０分）  ４　評価の発表と総括（１０分）    【日本赤十字社鹿児島県支部への訓練支援依頼】  １　メニュー例  　　炊飯袋（ハイゼックス）での白米炊飯、豚汁  ２　調理時間計画  　【自主防災組織による炊出し訓練】と同様 | | １２：４０ | 質疑応答後、訓練終了式、解散 | |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 内　　容 |
| 注意事項 | １　エコに配慮し、実食時の食器等は訓練参加者持参とする。  ２　食中毒予防  　⑴　食材調達は当日早朝を追求し、前日調達の場合は冷蔵・冷凍等、自治会冷蔵庫または訓練参加者宅での分散保管を計画する。  　⑵　訓練参加者全員、消毒液による手指消毒  　⑶　調理担当者はビニール手袋の使用  　⑷　調理後、速やかな実食を徹底し、持ち帰り禁止とする。  ３　安全管理  　⑴　食材カット場、調理場、配食・実食場それぞれに安全係を配置する。  　⑵　屋外で調理する場合は、砂埃防止に配慮し打ち水等を実施  　⑶　火気使用場所への消火器、消火砂・水の配置  　⑷　転倒防止  　　　段差排除、ガスホース、電源コード等への注意喚起・要点縛着等 |
| 準備事項 | １　訓練場所の選定・確保（できれば前日から確保）  　⑴　少人数の場合は自治公民館、多数の場合は、学校体育館や公共施設を確保（駐車場を含む。）  　⑵　訓練環境のレイアウト図の作成及び関係組織への配布  ２　訓練資機材の準備  　⑴　日本赤十字社鹿児島県支部への訓練支援を依頼する際は、相互に準備する資機材等を確認する。  　　　日本赤十字社鹿児島県支部で準備可能な物は下記のとおり  　　　炊出し釜、コンロ、炊飯袋、炊出し説明書  　⑵　調理器具等の不足がないよう留意し、自主防災組織保有物品で不足する場合は、事前に訓練参加者への携行を依頼  　⑵　マイクセットまたは拡声器の準備  　⑶　救急箱等の準備  ３　訓練参加者の把握及び任務付与を概定しておく。  　　特に調理担当は、性別・経験度による偏りがないように配慮する。  ４　前日１６：００頃　訓練場所での資機材等の配置後、点検  ５　前日夕方と当日朝　訓練に関する自治会放送 |
| その他 | 自主防災組織として、地域内にある飲料水、生活用水として活用できる井戸、水槽、池、プール等を調査し、地区防災計画に明記するとともに、所有者等と使用について事前協議しておく。 |